

関市立関商工高等学校

校長 中原 泰男

学校住所 岐阜県関市桐ヶ丘一丁目1番地 電話 0575-22-4221

1 会議の名称 第1回関商工高等学校運営協議会

- 2 会議の構成 委員
- | | | |
|--------------|-----------------------|---------------|
| 北瀬 美幸 | 関美濃保護区保護司会 | 保護司 |
| 杉原 茂男 | 中部学院大学 | 特命学長補佐 入試広報部長 |
| 田中 裕美 | 国際ソロプチミスト関 | 前会長 |
| 波多野篤志 | 青協建設株式会社 | 取締役副社長 |
| 森 有生 | 関青年会議所 | 理事長 |
| 山田美穂子 | 関印刷有限公司 | 取締役社長 |
| 渡邊 薫 | 関市立関商工高等学校 | P T A副会長 |
| アドバイザー 長屋 千秋 | 各務原市産業活力部商工振興課人材確保相談員 | (元本校副校長) |
| 山田 雄治 | 朝日大学経営学部経営学科教授 | (元本校校長) |
- (敬称略 50音順)

学校側	中原 泰男	校長
	蒲 尚胤	副校長
	長尾 成広	事務長
	服部 幸広	教頭 (全日制商業)
	安江 博	教頭 (全日制工業)
	林 剛史	教頭 (定時制)
	林 秀記	教務主任 (全日制商業)
	野口 晃弘	教務主任 (全日制工業)
	石原 桂	教務主任 (定時制)
	吉田 英生	生徒指導主事 (全日制工業)
	野田 泰宏	進路指導主事 (全日制商業)
	安藤 正夫	商業科主任 (全日制)
	牛丸 憲一	工業科主任 (全日制)

- 3 会議の目的 学校に在籍する生徒の保護者及び地域住民の学校運営への参画及び連携の強化を推進することにより、学校、保護者及び地域住民が相互に信頼関係を深め、一体となって学校運営の改善及び生徒の健全育成に取り組む。

- 4 会議の開催 令和5年6月13日(火) 13:00~14:30 至誠館2階
委員7名 アドバイザー2名 学校13名 出席

5 会議の概要

- (1) 学校運営協議会について説明
- (2) 令和5年度学校運営協議会委員の委嘱
- (3) 出席者紹介
- (4) 委員長・副委員長の選出
- (5) 学校側からの説明(各分掌等の説明。)
- (6) 委員・アドバイザーからの意見・提言

※（４）委員長・副委員長の選出については、立候補がなかったため、事務局より推薦した２名について承認をいただき、委員長・副委員長を選出した。

委員長 杉原 茂男

副委員長 山田美穂子（敬称略）

※（５）学校側からの説明、（６）委員・アドバイザーからの意見・質問など
（意見）

- ・様々な活動を、どのように市へ還元することができるかが肝要である。
- ・実施している内容を情報として発信すると市民へ伝わる。
- ・自分で考える力やディベート力を養える教育に力を入れてほしい。
- ・生徒指導の方針の一つである「道徳心をもった豊かな人間性」の指導に力を入れてほしい。
- ・規律を大事にして、しっかりとした教育をお願いしたい。
- ・地元就職する、進学しても地元に戻ってくるような教育をしてほしい。
- ・進学する生徒が増加していると聞いている。素晴らしいことであるが、地元にも戻ってきてほしいと思う。
- ・自転車通学時におけるヘルメット着用については、現在努力義務となっているが、ぜひ着用についても指導をしてほしい。
- ・観点別評価についてもきめ細かい指導や助言が必要となってくるので、個に応じた対応をお願いしたい。
- ・海外からの留学生の受け入れや海外留学なども取り入れてほしい。外から見る日本を知ることよい学習である。
- ・商業科と工業科が同じ学校であることは貴重であるので有効活用してほしい。
- ・商業と工業のコラボレーションは良い考えだと思う。
- ・定時制においてリカレント教育(社会人が学びなおせる教育)を検討してもよいのではないか。
- ・木工、鉄の加工などのスキルを身につけたい地域の方はあるのではないか。

（質問）定時制生徒は在学中にアルバイトをしているが、卒業後は定職に就いているか。

（回答）定職に就いている。

（質問）商工ハイブリッドの提案はどれくらいの時間数であるか。

（回答）令和６年度から実施予定である。「商品開発と流通」「工業技術基礎」の商業、工業それぞれ２単位の実施を予定している。

（質問）８０周年ロゴは販売するか。

（回答）８０周年記念式典での販売は考えていないが、刃物祭り等のイベントでは販売を考えている。

６ 会議のまとめ

- ・第１回学校運営協議会において、本協議会の設置運営及び学校運営基本方針等について説明し、全委員より承認が得られた。